



# 久保田由夫 ほっと通信



NO. 101  
2020. 6月号  
【部内資料】

発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・ツイッター・フェイスブックもご覧ください>



## <季節の写真>

信州国際音楽村のバラ園。まだ、7分咲きぐらいでした。上品な香りが広がっていました。

◆5月、上田市議会の臨時議会が2回開かれた。1回目は、「一律10万円支給事業」が主な内容。◆2回目は、市独自の新型コロナウイルス感染症対策と経済対策を盛り込んだ補正予算。◆国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、総額1兆円ですが上田市への配分は、5億416万4千円。この金額では、市独自の施策を思い切って実施しようにもとても足りない。◆5月20日、全国知事会は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の『飛躍的増額』に向けた緊急提言」を出した。地方自治体は、リーマンショック時の経済対策の3.5兆円を上回る規模を要求している。◆政府は、第二次補正予算で、2兆円を追加したが、地域経済の立て直しのためには、地方自治体への手厚い支援が必要である。◆新型コロナ対策は、人間の体に例えると「大量出血を止める。必要なら輸血をする。体質を改善して健康な体にもどす」ことが求められている。◆グローバル経済は、このような感染症が瞬時に世界に広がること示した。グローバル資本主義の経済手法は、世界で一番コストの安い地域に大量発注して、それを世界中で使うという仕組みです。日本のマスク国内生産比率は約20%と少ない。コロナ後を考えるとグローバル経済の見直しが世界の動きになりそうだ。(くぼた よしお)

## 市独自の新型コロナウイルス感染症対策、経済対策など12億6,367万円(5月臨時議会:2回目)

### <令和2年一般会計補正予算第2号の主な事業>

#### <避難所の感染症対策を充実>

- ・避難所の感染症対策として、指定避難所67カ所に赤外線体温計(1個ずつ)、マスクは1避難所当たり1日分200枚(2日分)あわせて28,000枚。洪水時に対応できる44カ所の指定避難所にテント10張りずつを配備する。現在備蓄数(317張り)の不足分。(1,000万円)
- ・職員2800人に対するマスクやフィルター(400万円)
- ・上田市社会福祉協議会の単独融資制度「たすけあい資金貸付金」に対する原資への助成金は、連帯保証人および民生委員の署名を不要とするなど対象者を拡大する予定(300万円)
- ・住宅確保資金は、生活困窮者に対する家賃補助をする。(1,800万円)
- ・保育所等登園自粛に伴う保育料等還付事業は、登園を自粛した利用者に対して、保育料及び副食費を還付する(公立保育所、私立保育所・認定こども園等)(合計4,014万3千円)

#### <市内2カ所に地域検査センター>

- ・地域検査センター運営事業は、医師会と調整し、県からの委託を受けて地域検査センターを設置する。(4,733万5千円)
- ・発熱患者受入医療機関協力金は、医療機関に対する市独自事業(3,000万円)
- ・雇用調整助成金申請支援事業は、中小企業が雇用調整助成金の申請に必要な書類作成を社会保険労務士に委託した場合の助成(1,400万円)

### <国の給付金対象外の事業者者に10万円支給>

- ・売上減少事業者支援給付金は、国の持続化給付金の対象外となる事業者を支援するための市独自事業:上限10万円、前年度比売り上げ減少30%以上50%未満(1億7,110万円)
- ・新型コロナウイルス拡大防止協力金・支援金事業は、県と協調した事業。県20万円、市10万円:支給額30万円(1億1,000万円)
- ・新型コロナウイルス対策制度融資保証料・利子補給補助金は、市内中小企業に対して、事業継続の支援として制度資金を利用した資金調達ができるように金融機関への預託を増額する。あわせて、保証料への補助と利子補給の拡充(6億1,000万円)

### <市独自に旅館・ホテル事業者に支援金(上限は300万円)>

- ・旅館・ホテル業事業者支援金給付事業は、経営が悪化している旅館・ホテル事業への支援金:市独自業で宿泊定員×7,500円(上限300万円)(1億2,380万7千円)
- ・学校の長期休業に対する環境整備事業は、長期休業に伴う学校生活への不安を抱えた児童・生徒への支援を行う人件費:特別教育支援員および心の教室相談員の活動時間を増やす(797万7千円)
- ◆このほかに、感染予防対策費として、学校、保育所、幼稚園、児童館、放課後児童クラブなどへの予算があります。

